年の

九条道家による日根庄の

それぞれ発給されたようです。

しかし、天福2(1234)

者に権利を保証する政所下文が

九条兼実から永盛の流れを汲むが、建久3(1192)年には 孫を下司職に任じる院庁下文 せんが、11~12世紀に永盛の子

うです。具体的な年はわかりま

立庄によって、こうした状況は

変化します。立庄に際しては、

といった近隣の用水の関係上、

った近隣の協力が必要と

道家は

U

長滝庄.

込まれ、12世紀後半以降には殿が建立した東北院の所領に組み確かなようです。その後、彰子 から、この頃開発されたことはには農地開発が確認できること 代々経営する所領となります。 開発が急速に展開し、 の成果から、10世紀後半以降によるとされています。発掘調査 当庄の始まりは、土地を開発し 下渡領と呼ばれる藤氏長者が ~1074) に寄進したことに た源永盛が、 野市長滝近辺にあった庄園です ています。 冬季企画展「長滝庄」を開催し が、庄官として開発を続けたよ 当地では永盛の流れを汲む者 イクアルスタープラザ・カ 長滝庄は現在の泉佐 藤原彰子(988 11世紀代 のでは、

> 轄しており、 庄は殿下渡領として九条家が管 獲得します。一方で当時の長滝 国音羽庄と引き換えに禅興寺を となったのが中原盛実です。 除します。 手段で立庄に反対する勢力を排 盛実以降、 このとき新たに庄官 中原氏が庄官職を 庄官の交替という

年、当時の氏長者であった二条 のです。結局、正和5(1316) 間で対立が顕在化します。それ で収めようとします。 同職を久米田寺に寄進すること 道平は両者の庄官職を没収れ をめぐって両者は衝突し続ける 以降半世紀以上もの間、庄官職 致と、盛実の孫である明心との 永盛の系譜を引くという藤原章 です。文永元 (1264) 年に きは当地での軋轢を生んだよう

道悟が正式に長滝庄の庄官職にり、建武4(1337)年には増を名乗る)に庄官職を譲一族である盛治(のち日根野ーないの娘如性が 3(1340)年に性海の濫妨任じられます。しかし、暦応 掌握はできていなかったようで 行為が問題となっており完全に 続けたようです。正中2(13 しかし、中原氏は実効支配を

開館し、その翌日が休館)

(入館は午後4時30分まで)

午前9時~午後5時

入館料 無料

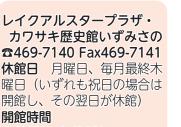
開館時間

であ 考えられます。 野氏の力は及ばなかっ 北朝方であ つ

いたようです。が選出すると、長滝庄も興福寺が進出すると、長滝庄も興福寺戦国時代に泉南地域に根来衆 のもと、 ことが確認できます。しかし、 室町時代には、 興福寺が関与している 藤氏長者管轄

行われ、このときの検地帳が今年には長滝庄において検地が この後「長滝村」となり、 滝庄」と記載されていますが、 になります。文禄3(1594)により、長滝庄は秀吉の影響下 衆が羽柴秀吉に敗北したこと 時代を迎えることとなります。 に残っています。ここには「長 天正13 (1585) 長滝庄は秀吉の影響下 年、

相伝していくのですが、この動



▲藤原章致申状 (年月日不詳、国立歴史 民俗博物館所蔵)

泉佐野 レトロ タイムスリ

泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。 ⑩旧市民病院



昭和40年に旧市民病院の正面入口側を撮 影した空撮写真。拡張された土丸栄線 (写真 手前側の道)に面した本館が新たに増築され たため、正面入口が本館の西側から、増築さ れた本館の東側(写真手前側)になった。



▲昭和30年当時の旧市民病院 旧正面 入口側からの写真。旧正面入口は、左 の空撮写真の奥側の道に面していた。 市内出身の建築家であり郷土史家でも ある池田谷久吉が設計を行った。





▲旧正面入□側を撮影した写真 と同じ方向から撮影した現在の 写真。旧市民病院は平成7年にり うタウンに移転し、現在の 場所には商業施設が建っている。

泉佐野市の懐かしい写真は 「泉佐野市デジタルアーカイブ (https://adeac.jp/izumisano-city/top/)」 でも公開中!